

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部子ども家庭政策課
評価対象期間	25年4月1日～26年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立子どもの館 北九州市立子育てふれあい交流プラザ	施設類型	I	目的・機能	— ⑦
	所在地	【北九州市立子どもの館】 八幡西区黒崎三丁目15番3号 COM CITY 7階 【子育てふれあい交流プラザ】 小倉北区浅野三丁目8番1号 AIMビル3階				
	設置目的	【子どもの館】 ●子どもたちに充実感や達成感を得ることのできる遊びや様々な年代の人たちとの交流の場を提供することにより、子どもの豊かな感性や想像力を育む。 ●子育ての情報収集と交換の場を提供し、子育ての不安を解消しそれにより子どもの健やかな成長を支援する。 【子育てふれあい交流プラザ】 ●0歳から就学前の親子や妊産婦を対象に、子どもの感性を育み、子育て中の親が持つ負担・不安感を解消し、地域の子育て支援の活性化を図る。				
利用料金制		非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 <input type="checkbox"/> ・ 完全利用料金制				
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	NPO法人子ども未来ネットワーク北九州				
	所在地	北九州市小倉南区北方二丁目15番21号				
指定管理業務の内容		●施設の維持管理にかかる業務 ●子育てに関する取り組みの支援や実施に係る業務 ●子育て支援活動を行う市民団体への活動の場の提供及び活動支援 など				
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。					
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
[所見]					
【子どもの館】					
利用者数	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
要求水準	417,000 人	421,000 人	424,000 人	437,000 人	440,000 人
目標値	417,000 人	520,000 人	580,000 人	712,000 人	730,000 人
実績	556,195 人	662,969 人	762,821 人	702,826 人	789,184 人
<p>平成13年11月に開館した本施設は、開館12周年を迎え、平成26年3月末には、入館者が680万人を超えるなど、多くの方々に利用されている。</p> <p>平成25年度は、4月に「子ども一時預かり室」を設置し、子育て支援の更なる充実を図るとともに、遊びの幅を広げ、質を高める事業に一層取り組んだ。</p> <p>例年人気の高い「夏休み特別展」では、「～あそぶ！まなぶ！たべる！～お菓子カーニバル」を開催。「10メートルのロールケーキ作り」をはじめ、お菓子絵本の読み聞かせや試食イベント等、親子3代で参加・体験できるよう事業内容を工夫し、期間中は235,044人（前年比 27.4%増）が来場し、大いに盛り上がった。</p> <p>また、「チャレンジスポーツコーナー」では、2014年開催の冬季オリンピックに併せ、北九州出身選手やメダル獲得者等の紹介を行ったり、1ヶ月間に渡り記録会を開催したりすることでスポーツに関心を持ってもらう工夫を行った。</p> <p>また、毎月発行している子育て情報誌「ほっぷ・すてっぷ・キッズ」のほか、月齢別の離乳食レシピを作成するなど、子育て情報の提供にも力を入れ、子育てに関する不安解消等にも努めた。</p> <p>なお、より一層の機能充実を目的として、平成26年2月18日から3月20日の間、リニューアル工事を実施したことにより施設の休館や一部閉鎖を行ったが、このような取り組みにより、年間目標入館者数を大幅に上回る結果となった。</p>					

【子育てふれあい交流プラザ】

利用者数	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
要求水準	400,000 人	404,000 人	408,000 人	412,000 人	416,000 人
目標値	417,000 人	404,000 人	408,000 人	412,000 人	416,000 人
実績	394,275 人	415,465 人	433,731 人	432,109 人	457,513 人

本施設では、子育て、親育ち、地域子育て支援を念頭に、事業に取り組んだ。

子育て支援としては、絵本の読み聞かせに効果音を加えて臨場感を演出したり、童謡「もりのくまさん」のストーリーに沿って体を動かす「わくわくなわあそび」を実施したりするなど、子どもの発達段階に応じた様々な親子のふれあいの場を提供した。

親育ち支援事業としては、子育てに不安や孤独感を抱えている親を対象に、子育てに必要な技術や知識、心構えのアドバイスなどに関する教室等を開催した。

本年度は新たに、プラザサポーターに登録している子育て支援団体と連携して「大人のための読み聞かせ会」を開催し、入場を大人のみとすることで「親」という役割にとらわれず、リフレッシュしたり、新たな視野をひろげたりするきっかけづくりを行った。

地域子育て支援としては、周囲に相談できる人が少ない保護者のための居場所づくりとして例年実施している「おしゃべりサロン in 元気のもり」の参加者による初のサークルが結成され、プラザサポーターへの登録も行うなど、親同士のネットワークや子育て支援の輪が広がり有意義な事業展開となっている。

25年度の入館者数は、前年入館者数および年間目標入館者数も達成するなど、着実に推移した。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【子どもの館】

子どもの館の印象	非常に良かった	良かった	計
平成 21 年度	39.2%	55.3%	94.5%
平成 22 年度	40.2%	56.9%	97.1%
平成 23 年度	35.1%	60.5%	95.6%
平成 24 年度	45.2%	51.7%	96.9%
平成 25 年度	38.4%	59.1%	97.5%

過去に「子どもの館」 を利用した回数	はじめて	2～5回	6回以上
平成21年度	34.5%	51.7%	13.8%
平成22年度	23.5%	34.8%	41.7%
平成23年度	21.3%	37.6%	41.0%
平成24年度	20.0%	40.0%	40.0%
平成25年度	24.5%	39.3%	36.2%

【子育てふれあい交流プラザ】

子育てふれあい交流 プラザの印象	非常に 良かった	良かった	計
平成21年度	47.7%	50.0%	97.7%
平成22年度	46.9%	49.3%	96.2%
平成23年度	45.6%	49.0%	94.6%
平成24年度	48.5%	47.5%	96.0%
平成25年度	53.5%	43.0%	97.5%

過去1年間に「プラ ザ」を利用した回数	はじめて	2～5回	6回以上
平成21年度	22.6%	56.0%	21.4%
平成22年度	25.7%	54.7%	19.6%
平成23年度	23.8%	59.3%	16.9%
平成24年度	28.6%	54.4%	17.0%
平成25年度	25.4%	52.8%	21.8%

【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】

利用者の満足度は「非常に良かった」「良かった」をあわせて、「子どもの館」、「子育てふれあい交流プラザ」両施設ともに97.5%と非常に高く、利用者の満足度は高いものとなっている。また、リピーター率も高く、利用者のニーズを捉えたサービスが提供されているといえる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所 見]

【子どもの館】

単位：千円

指定管理料	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	171,637	173,370	173,280	173,496	172,881
決算	171,637	168,113	162,310	157,480	158,534

単位：千円

総事業費	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	244,687	234,913	230,610	232,480	239,034
決算	236,747	239,713	241,468	228,672	237,657

単位：千円

うち光熱水費	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	52,648	50,300	47,000	44,000	42,000
決算	50,205	46,549	43,347	39,489	30,291

【子育てふれあい交流プラザ】

単位：千円

指定管理料	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	95,685	96,150	96,130	96,120	96,070
決算	95,685	98,507	100,662	102,531	103,682

単位：千円

総事業費	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	132,035	130,107	132,662	135,031	136,882
決算	126,713	131,738	134,263	136,517	139,691

単位：千円

うち光熱水費	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
予算	19,000	17,500	16,200	18,000	17,500
決算	17,333	16,108	17,868	17,248	17,162

【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】

館内の不要な照明は管球を外すなど、節電、節水に努めた。また、各コーナーの清掃や施設等の軽微な補修等は職員で対応するなど、経費の低減に努めた。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【子どもの館】

単位：千円

収入		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
利用料金収入	予算	52,400	49,000	51,500	57,800	59,800
	決算	47,803	54,657	61,166	54,620	59,264
自主事業収入	予算	17,800	14,800	13,800	14,000	17,400
	決算	14,315	13,920	14,605	13,156	16,364
その他収入	予算	2,850	3,000	3,000	3,200	3,300
	決算	2,990	3,021	3,385	3,415	3,492

【子育てふれあい交流プラザ】

単位：千円

収入		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
利用料金収入	予算	25,000	21,300	21,900	21,700	22,100
	決算	20,851	22,652	22,633	23,115	24,689
自主事業収入	予算	9,100	8,600	8,400	9,000	9,300
	決算	8,497	8,774	9,107	8,960	9,322
その他収入	予算	2,250	1,700	1,700	1,800	1,800
	決算	1,678	1,804	1,859	1,919	1,993

【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】

「子育てマップ北九州」や「子育て情報メール」等を活用し、イベント等のタイムリーな情報発信に努めるとともに、新聞、雑誌、テレビやラジオ等による広報や、地域行事等に積極的に参加し、魅力ある施設を直接PRするなど、幅広い広報に努めた。

子どもの館については、リニューアル工事期間中は施設の一部閉鎖や閉館を行ったため、収入はわずかに見込みを下回ることとなったが、子育てふれあい交流プラザは予算額から大幅に増加した。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】

両施設とも所長管理監督のもと、適正な人員配置に努め、休日やイベント開催日など、多くの利用者が見込まれる日は、対応者の数を増やすなど臨機応変に対応した。両施設

とも、職員・アテンダント（子どもの遊びを見守ったり、付き添いをしたりする人）・ボランティア等、全てのスタッフの資質・能力向上を図る取組みとして、接遇及び安全管理対策等の研修を実施するなど、職員の資質・能力向上に努めた。

また、市内における子育て支援施設や団体間の連携を目的として「北九州市子育てサミット2014」を開催し、横のつながりの強化に取り組んだ。

さらに、青少年ボランティアステーションの体験活動の場の提供をはじめ、多くのボランティアの受け入れや、地元学生の実習の受け入れなどを積極的に行い、地域との連携も図っている。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

【子どもの館・子育てふれあい交流プラザ】

データの管理については、施錠が可能な保管庫に保管し、所長を管理者として管理を行っている。

収支の内容について、事業報告書等を精査した結果、不適切な点はなかった。

事故防止の安全対策としては、朝礼などを通じて、職員、アテンダント等に事故防止に対する意識づけを行うとともに、マニュアルに基づく館内巡回を行い、事故防止に努めている。また、遊具・設備の保守点検等、不具合が生じる前に予防措置を事前に施す予防保全型の施設管理を推進し、利用者へのサービスの維持・向上に努めている。施設内で子どもの怪我などが発生した場合は迅速に対応するとともに、市所管課に速やかに連絡（電話及び報告書）をすると同時に、結果等についても逐次報告があった。

【総合評価】

【所見】

利用者の満足度は高いものとなっており、施設の運営管理も適切に行われている。

